

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 3 月 19 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	19.4	105.5 kPa abs	A系： - *2 Vol %
		給水系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.09 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	33.5	6.97 kPa g	A系： - *2 Vol %
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： - *2 vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	31.7	0.28 kPa g	A系： - *3 vol %
		給水系：約 1.8 m ³ /h			B系： 0.14 vol %

*1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

*2: 作業に伴いデータ欠測

*3: 電源が瞬時停止する事象に伴いデータ欠測。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	停止中	16.0 *1
2号機	循環冷却システム	運転中	17.8
3号機	循環冷却システム	停止中	13.8 *1
4号機	循環冷却システム	停止中	25 *1

: 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘイドラジンの注入を適宜実施。

*1: 電源が瞬時停止する事象に伴い、至近データ(3/18 17:00 時点)を記載。

・H25/3/18 6:35 電源二重化工事に伴い、2号機使用済燃料プール代替冷却系を停止(停止時プール水温度: 約 15.0)。3/18 18:38、作業が終了したことから同システムを起動。起動時のプール水温度は、16.4 であり、運転上の制限値 65 に対して、使用済燃料プール水温管理上問題なし。

・H25/3/18 18:57 頃 福島第一原子力発電所免震重要棟において、電源が瞬時停止する事象が発生。状況を確認したところ、福島第一原子力発電所内の一部の電源設備が停止しており、以下の設備が停止。

共用プール冷却浄化設備

1号機 使用済燃料プール代替冷却設備*2(二次系)

3号機 使用済燃料プール代替冷却設備(一・二次系)

4号機 使用済燃料プール代替冷却設備(一・二次系)

*2: 1号機使用済燃料プール代替冷却設備の一次系については、同系統のポンプ保護のため 3/18

21:10、手動にて停止。

・H25/3/19 13:20 4号機 使用済燃料プール代替冷却設備一次系を起動。運転開始後の運転状態に異常なし。

・H25/3/19 14:20 1号機 使用済燃料プール代替冷却設備一次系、二次系を起動。起動後の使用済燃料プール水温土は 17.0 であり、運転上の制限値 65 に対して十分余裕があることを確認。

・H25/3/19 16:13 4号機 使用済燃料プール代替冷却設備二次系を起動。運転開始後の運転状態に異常はなく、使用済燃料プール水温度は 30 であり、運転上の制限値 65 に対して十分余裕があることを確認。

3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	3/15 10:27 ~ 3/19 10:34 移送実施

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

・H25/3/19 10:34 3/18 18:57 頃に発生した福島第一原子力発電所免震重要棟における、電源が瞬時停止する事象の影響を受けて、滞留水水位監視が出来ない状況であることから、念のため3号機への移送を停止。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/19 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/3/15 7:32 第二セシウム吸着装置の信頼性向上工事等に伴い、第二セシウム吸着装置を停止。なお、同装置の停止に伴い、同日 11:43 にセシウム吸着装置を起動し、12:02 に定常流量に到達。

・H25/3/18 3/18 18:57 頃に発生した、福島第一原子力発電所免震重要棟における、電源が瞬時停止する事象の影響を受けて、セシウム吸着装置(キュリオン)が停止。その後、3/19 12:01 に、セシウム吸着装置(キュリオン)を起動し、3/19 12:17 に定常流量に達したことを確認。運転開始後の運転状況は異常なし。

< 5. その他 >

・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5、6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。

・H25/3/18 18:57 頃 福島第一原子力発電所免震重要棟において、電源が瞬時停止する事象が発生。状況を確認したところ、福島第一原子力発電所内の一部の電源設備が停止しており、以下の設備が停止。

3号機原子炉格納容器ガス管理システムA系

窒素ガス分離装置(B)

なお、福島第一原子力発電所の以下の設備については、異常のないことを確認。

1~3号機 原子炉注水設備

モニタリングポスト

1~3号機 原子炉格納容器ガス管理システム(3号機ガス管理システムA系を除く)

2号機 使用済燃料プール代替冷却設備

1~3号機 窒素ガス封入装置

窒素ガス分離装置(A)

・H25/3/19 3:00 窒素ガス分離装置(B)を起動、3/19 3:10 に窒素供給を開始。

・H25/3/19 9:03 プロセス建屋常用 M/C がプロセス建屋後備 M/C より受電。

・H25/3/19 10:01 所内共通 M/C4A がプロセス建屋常用 M/C より受電。

・H25/2/26 10:04 ~ H25/3/19 10:18 1号機サプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を実施。

・H25/3/19 5号機原子炉建屋天井部については、H23/3/18 に水素爆発の防止を目的として穴を開けているが、現在5号機は冷温停止が維持されていて、プラントの状態も安定していることから、建屋の気密性維持を目的に、3/19 よりその穴を塞ぐ作業を開始。3/19 13:00 当該閉止作業を完了。

・H25/3/19 2号機原子炉格納容器の内部調査を実施したが、レールの調査が出来なかった。今後の調査については未定。

・H25/3/20 ~ 3/22、3/24 ~ 3/26 1号機原子炉格納容器ガス管理設備につき、電源関係移設及び制御系改造工事を行うため、左記期間でA B両系を1日あたり3 ~ 8時間停止する予定。当該期間は、保安規定第136条第1項(保全作業を実施するため計画的に運転上の制限外へ移行)を適用して作業を行う。

以上